

平成30年度 上戸祭小学校 学校評価書

1 教育目標（目指す児童像含む）

基本目標：心身ともに健康で日本及び国際社会に貢献できる人間の基礎的な資質を養う。

＝ 心身ともに健康でたくましく、創造力と実践力に満ちた、心豊かな児童の育成 ＝

自分や他人を大切にする子ども

進んで学ぶ子ども

たくましく生きる子ども

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

＝ 合言葉：「学ぼう 遊ぼう 友だちと」 ＝

人間尊重の精神を基盤としたあらゆる教育活動を通して、学校教育目標に掲げた児童の育成を目指す。そして、児童が、社会の中で自分の能力を発揮し自己実現できるようになるために、「できなかったことができる、分からなかったことが分かる」ように、児童と教師と学校の power up を図る。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※地域学校園内で共通する方針は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- （1）児童の power up のために、個に応じた指導を充実させるとともに、保護者と連携して家庭学習の習慣化を図るとともに、社会性の育成を推進する。
- （2）児童の power up を支える教師の power up のために、校内研修を計画的・継続的に実施し、授業力の向上を図る。
- （3）教師の power up を支える学校の power up のために、地域や保護者への情報提供と地域の教育力を生かした取組の推進を図る。

〔星が丘地域学校園教育ビジョン〕

「未来を見つめ、学び続ける力の育成」

～星が丘地域学校園の学校文化を築くことを通して～

4 今年度の重点目標（短期的視点） ※地域学校園内で共通する目標は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

【学校運営】

- ・ 未来を見つめ、夢と希望に満ちた学校づくり

【学習指導】

- ・ 「読んで・わかって・伝える力」の育成
- ・ 「かみと学習マニフェスト」による学力向上
- ・ 意欲的に学び続ける児童の育成

【児童指導】

- あいさつと言葉遣いを重点とした、望ましい生活習慣と正しい判断力の育成
- ・ 互いのよさを認め合い、他人を思いやることのできる児童の育成

【健康（保健安全・食育）・体力】

- ・ 自らのめあてを明確にし、進んで体力の向上に取り組む児童の育成
- ・ 児童の健康な生活習慣の定着

- 5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。） 評価の網掛け：本年度重点評価：マニフェスト
- ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組に関わる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。
- ※「主な具体的な取組」の方向性には、A 拡充 B 継続 C 縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
学校運営の状況	A1 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 市共通アンケートの「私は、今の学校が好きです」 ⇒児童の肯定的回答 95%以上 市共通アンケートの「学校全体に活気があり、明るくいいきとした雰囲気である」 ⇒保護者の肯定的回答 95%以上	・児童主体の魅力ある活動を推進しながら、一人一人のよさを認めることで「未来を見つめ夢と希望に満ちた学校づくり」と「心身ともに健康でたくましく、創造力と実践力に満ちた心豊かな児童の育成」に努めます。 (1)児童会活動や縦割り班活動、各委員会が企画・運営する集会・交流活動を充実させ、ロング昼休みを有効活用するなど、児童主体の魅力ある活動を推進します。 (2)日常的に児童の見取りを細かく行い、児童一人一人の話をよく聞き、声を掛け、よいところを認め、伸ばす指導に努めるとともに、職員間で学習情報システムを利用した情報共有を含め、より報交換を密にし、職員全体で児童を賞賛できる場を設定します。昨年度から始めたかみとオリンピックを通して、学級内で協力する機運を醸成し、互いの学級を認め合う機会として、さらに工夫改善し、学校生活の活性化につなげていきます。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。 【数値指標】 市共通アンケートの「先生方は、大切なことを熱心に指導してくれる」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 市共通アンケートの「教職員は協力し、教えるべきことを熱心に指導している」 ⇒保護者の肯定的回答 90%以上	・「学ぼう 遊ぼう 友達と」を合言葉として、児童が社会の中で自分の能力を発揮して、自己実現を目指すことができる教育を進めます。 (1)授業の初めにねらい（身に付けたい力）を提示します。イメージを表現しながら学び合う活動を効果的に取り入れて、分かる授業を展開します。 (2)教職員は、明るいあいさつを率先垂範し、人権感覚を磨き、丁寧な言葉遣いや誠実な対応を心掛けます。		【達成状況】 【次年度の方針】

A3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。 【数値指標】 市共通アンケートの「児童は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」 ⇒全体の肯定的回答 94%以上 ※全体の肯定的回答とは、児童・教職員・保護者・地域住民の肯定的回答の平均を指す。	・あいさつと言葉づかいを重点とした、望ましい生活習慣と正しい判断力の育成に努めます。 (1)「かみとよい子のやくそく」と「職員が共通理解しておきたい指導のめやす」を確認したり、児童の実態に応じて指導すべきポイントを絞り込み毎月の生活目標を設定し学期ごとに振り返りカードで振り返りをして、集団生活の中できまりを守っていこうとする態度の育成を図ります。 (2)地域や地域学校園内の中学校等と連携して、児童が中心となって工夫したあいさつ運動を展開するとともに、登下校時や上戸タイム、朝の会や帰りの会など、さまざまな場で児童の規範意識を高める指導をしていきます。	【達成状況】 【次年度の方針】
A4 教職員は、分かる授業や児童にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 市共通アンケートの「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」 ⇒児童の肯定的回答 96%以上 市共通アンケートの「教職員は、児童生徒一人一人が理解できるように教材を工夫するなど、きめ細かな指導をしている」 ⇒保護者の肯定的回答 90%以上	・情報を正確に読み取り、自分の考えを進んで表現して学び合う児童の育成を目指して授業改善に取り組むとともに、一人一人に応じたきめ細かな指導に努めます。 (1)漢字、計算、音読などを発達の段階に応じて取り入れ、基礎・基本の定着を図った上で、分かる授業のための教材研究・授業研究に努め、自分の思いや考えを豊かに表現させながら、学び合う授業を展開します。さらに、思考力・活用力を育成する朝の学習を情実させます。また、取り組み様子を学校便りや、学年便り等で、地域・保護者に発信します。 (2)国語・算数における習熟度別学習・チームティーチングの実施や、かがやきルームにおける個別指導の充実などにより、児童一人一人に応じた効果的できめ細かな指導に努めます。	【達成状況】 【次年度の方針】

A5 教職員はいじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 市共通アンケートの「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる」 ⇒児童の肯定的回答 95%以上 市共通アンケートの「学校は、いじめ対策を積極的に公表し、熱心に取り組んでいる」 ⇒保護者の肯定的回答 85%以上	・「上戸祭小いじめ防止基本方針」について、全教職員で共通理解を図り、いじめの根絶に努めます。 (1)「いじめはどの児童にも起こりうる」との認識の下、未然防止の充実を図り、いじめの起こらない環境づくりに努めるとともに、いじめ防止の取組(いじめアンケート年4回、教育相談年2回、いじめゼロ集会の実施等)について各種たよりやホームページ等で、保護者に発信します。 (2)いじめを早期に発見できるよう、児童が相談しやすい環境を整備します。また、いじめが起きたときには、事実確認を正確かつ迅速、組織的に行い、被害児童を守り通し、加害児童に対しては「いじめは決して許されないこと」を毅然とした態度で指導します。	【達成状況】 【次年度の方針】
A6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている。 【数値指標】 市共通アンケートの「私の学校生活や様々な活動は充実している」 ⇒児童の肯定的回答 92%以上 市共通アンケートの「学校の日課、授業、行事などは、適切に実施されている」 ⇒教職員の肯定的回答 97%以上	・特色ある学校づくりや児童の実態に応じた教育課程を計画的に実施するとともに、PDCAサイクルを活用しながらよりよい教育課程となるよう努めます。 (1)授業を計画に沿って適切に実施し、「ザ チャレンジ」「修学旅行」「冒険活動教室」などの学校行事を子どもの主体性を大切に実施します。 (2)学校行事や教育活動についての反省や、「社会に開かれた教育課程」の観点から以下のことを実施します。 ・地域・保護者の方々の教育力を生かした授業を展開する。 ・全市一斉土曜授業の日を「地域とともに学ぶ日」として位置づけ、地域・保護者の方々と交流したり学習成果を発表したりする学習活動を展開する。 ・お世話になった地域・保護者の皆様への感謝の気持ちを表す日として「上戸ありがとうの日」を実施する。	【達成状況】 【次年度の方針】

A7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、開かれた学校づくりが進められている。 【数値指標】 市共通アンケートの「学校は、学校便りや学校公開などで積極的に情報を発信・提供している」 ⇒保護者・地域住民の肯定的回答 97%以上	・保護者、地域住民等の学校に対する理解をより一層深めるため、積極的な情報公開に努めます。 (1)学校自由参観や児童会の活動、各学年で行う出前授業、文化的行事など、様々な機会を捉えて保護者の参加を促し、学校を保護者や地域に公開します。音楽集会は「発表集会」とし、音楽だけではなく、学習したことを学年の実態に合わせて発表する場とします。 (2)学校だよりの地区回覧、学年だよりのなど各種だよりの配付、ホームページの適宜更新を行い、学校の取組や児童の姿を、分かりやすく紹介します。	【達成状況】 【次年度の方針】
A8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った地域の学校づくりが推進されている。 【数値指標】 市共通アンケートの「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」 ⇒教職員・保護者・地域住民の肯定的回答 95%以上	・保護者や地域の各種団体、企業等の協力を得て、児童が人と関わりながら体験的に学ぶ機会を充実させるなどして、教育活動を充実させます。 (1)ボランティアの方々との活動内容のあり方を再吟味した上で、地域コーディネーターと連携し、ボランティアごとに担当の教員を配置し丁寧な打ち合わせを行い、地域の人材の積極的な活動を実現します。 (2)児童の安全を守るために、PTAや地域ボランティアと協力して、朝の登校指導や集団下校指導、「子ども110番の家」や通学路における危険箇所の確認、引き渡し訓練を実施します。	【達成状況】 【次年度の方針】

	A9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。 【数値指標】 市共通アンケートの「学校は、清掃が行き届き、荷物や備品などが整理整頓され、学習しやすい環境である」 ⇒全体の肯定的回答 92%以上 ※全体の肯定的回答とは、児童・教職員・保護者・地域住民の肯定的回答の平均を指す。	・教職員が率先して日々の清掃を行い、清掃用具の使い方や清掃の仕方についての指導に加えて、全校クリーン活動や清掃強化週間の実施、美化委員会による清掃目標の設定や清掃用具チェック、美化集会により、自分たちの学校を自分たちできれいにしようとする意識を高めます。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A10 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取り組みを行っている。 【数値指標】 市共通アンケート『学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取り組みを行っている。』 ⇒全体の肯定的回答 90%以上	・地域学校園内の小学校及び中学校と連携を図り、学校園の教育ビジョンを立て、学習・生活面等で系統性や統一性を持った教育を展開します。 （１）地域学校園の実態から「身に付けたい力」を教科別に話し合い、9年間を3期に分けそれぞれの発達段階に応じた目標を立て系統的な授業展開により、望ましい児童の育成を図ります。 （２）「あいさつ運動」「乗り入れ授業」「中学校訪問」などを通して望ましい生活習慣を育成したり、互いの理解を深めたりします。	【達成状況】 【次年度の方針】

B5 学校は地域との連携を図りながら、様々な体験活動や児童の居場所づくりを進めている。 【数値指標】 学校独自アンケートの「学校は地域協議会等との連携を図りながら、様々な体験活動や児童の居場所づくりを進めている」 ⇒教職員・保護者・地域住民の肯定的回答 95%以上 A11 多様な専門性を有する学校スタッフの活用により、教員の業務が縮減されている。 【数値指標】 市共通アンケート「多様な専門性を有する学校スタッフの活用により、教員の業務が縮減されている」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上 A12 教員は多様な専門性を有する学校スタッフと円滑なコミュニケーションが図れている 【数値指標】 市共通アンケート「教員は多様な専門性を有する学校スタッフと円滑なコミュニケーションが図れている」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	・地域協議会や地域コーディネーターと連携を図り、地域の人材やボランティアの協力を得て、豊かな体験活動や居場所づくりを展開します。 (1) 地域・家庭・学校が連携して、「上戸ありがとうの日」を実施しご協力いただいた方々への感謝の気持ちを表す場を設け、地域を愛する気持ちを育てます。 また、総合的な時間を中心に地域と連携した教育活動を積極的に取り入れます。 (2) 宮っ子ステーション「かみタマ」「上戸クラブ」との連携を図り、児童の放課後の多様な体験活動、居場所づくりに努めます。 ・専門性に基づくチーム体制の構築を展開していきます。 (1) 学校図書館司書・ALT・かがやきルーム指導員・SCなどと授業計画を通して連携を図っていきます。 (2) 学校図書館司書・ALT・かがやきルーム指導員・SCなどと報告・連絡・相談をしていきます。	【達成状況】 【次年度の方針】 【達成状況】 【次年度の方針】 【達成状況】 【次年度の方針】
---	---	---

教育活動の状況	生	○A13 児童は、進んであいさつをしている。 【数値指標】 市共通アンケート「児童は、時と場に応じたあいさつをしている」 ⇒全体の肯定的回答 90%以上 ※全体の肯定的回答とは、児童・教職員・保護者・地域住民の肯定的回答の平均を指す。	○1 マナーアップ委員会を中心にあいさつ運動やあいさつ金メダル運動や教師の朝の挨拶週間を実施していきます。また、見守り隊との対面式やありがとうの日を通して、地域の人に対する感謝の気持ちを育て、学校外での元気な挨拶の励行にも取り組んでいきます。 2 地域協議会を通して、地域の方たちにも学校の取組をご理解いただき、教職員も含めて気持ちのよいあいさつができる関係づくりに努めます。	【達成状況】 【次年度の方針】
	活	○A14 児童は、正しい言葉づかいをしている。 【数値指標】 市共通アンケート「児童は、時と場に応じた言葉づかいをしている」 「児童は、大人に対して適切な言葉づかいをしている」 ⇒全体の肯定的回答 85%以上 ※全体の肯定的回答とは、児童・教職員・保護者・地域住民の肯定的回答の平均を指す。	○1 時・場・相手に応じた適切な言葉遣いについて、道徳や学級活動等の時間を中心に粘り強く指導に努めるとともに、家庭や地域での指導の協力について働きかけていきます。 2 日常的に、相手を思いやる「ふわふわ言葉」を教室に掲示し意識化を図ったり、時と場に応じた言葉遣いができたりするような指導を行います。	【達成状況】 【次年度の方針】

	B6 児童は、友達と仲良く生活し、楽しい学校生活を送っている。 【数値指標】 学習と生活のアンケート 「友達といっしょに過ごすのは楽しいです。」 ⇒児童の肯定的回答率 90%以上 B6 学校独自のアンケート 「交流活動や交流給食で、同じ学年や他の学年の友達が増えた。」 ⇒児童の肯定的回答率 85%以上	1 清掃活動や交流給食・交流活動等の縦割り班の活動を充実させ、異学年の交流を図ります。なかよし班活動及び、清掃班編成の回数を学期ごとの2回とし、同じメンバーで活動できるようにします。 2 児童についての情報交換や教育相談、いじめアンケート（年間4回実施）、Q-U検査の結果の分析活用携帯電話の所持調査などにより、児童一人一人に目を向けた指導に努めます。 3 一人一人の児童が居がいをもって学校生活を送ることができるよう、教員が積極的に児童のよさを見つけ、ほめたり言葉かけを行ったりすることに努めるとともに、悩みをもつ児童が教師に気軽に話ができる体制づくりを行います。	【達成状況】 【次年度の方針】
健康・体力	A15 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。 【数値指標】 市共通アンケート「児童は、休み時間や放課後などに進んで運動している」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	1 「元気っ子健康体力チェック」の結果を踏まえ、体育の授業において、柔軟性、ソフトボール投げの能力を高めるための補強運動や、校庭や体育館の固定遊具施設を有効に活用するための補強運動を行います。 2 水泳検定カード・持久走がんばりカード、縄跳びカードを活用し、児童がめあてをもって運動に取り組めるようにします。 3 竹馬、一輪車、縄跳びジャンピングボード等を有効に活用し、児童が楽しんで運動に取り組めるようにします。 4 「元気っ子健康体力チェック」の結果とスポーツ委員会主催のイベントとを関連させながら、友達と豊かに関わりながら進んで運動に取り組めるような機会を、休み時間に設定し、屋外遊びを奨励します。	【達成状況】 【次年度の方針】

	A16 児童は、栄養のバランスを考えて食事をしている。 【数値指標】 市共通アンケート「児童は、好き嫌いなく給食を食べている」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上 市共通アンケート「自分の子どもは、好き嫌いなく食事をしている」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	○1 食育だよりを毎月発行したり、旬の食材を活用した季節感のある給食を実施したりして、食の大切さについて啓発を行います。 2 食物アレルギーのある児童の保護者との面談及び対応策の検討をして、個に応じた望ましい食習慣を育成します。 3 教科における「食に関する指導」や給食時の栄養指導等を実施するとともに、各種たよりで取組の様子を伝えていきます。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B1 安全と健康管理に気をつけ、元気に生活している。 【数値指標】 学校独自アンケート「児童は、安全と健康に気をつけて生活している」 ⇒児童・教職員・保護者の肯定的回答 95%以上	1 健康診断後に治療依頼の連絡をしたり、保健だよりを発行したりして、健康な生活習慣育成のための情報を提供します。また、給食後の歯磨きを全学年実施します。 2 肥満傾向児童に対して、養護教諭と学校栄養職員が栄養健康相談を継続して実施し、家庭と連携して健康な生活習慣の育成を図っていきます。 3 自分の命を自分で守ろうとする意識を高めるため、学年に応じた安全指導を行い、避難訓練や、不審者対策、交通安全指導を定期的に行い自分の命は自分で守ろうとする意識が高められるよう、指導を工夫します。	【達成状況】 【次年度の方針】
学 習	A17 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 市共通アンケートの「児童は、授業中に進んで話し合うなど、積極的に学習している」 ⇒児童・教職員・保護者の肯定的回答 92%以上	1 自分の考えや思いを図や言葉で表現したり、話し合ったりするなど、豊かに表現して学び合う児童を育成します。 2 発達の段階に応じて、「発表の仕方」や「話の聞き方」のルールを示し、互いの意見を伝え合い、児童同士で考えを深めていけるような場の設定を行い生活の場と教室をつなぐ活用型の課題を提示して意欲を高め、学びを深める授業を行います。	【達成状況】 【次年度の方針】

A18 児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。 【数値指標】 市共通アンケートの「児童は、授業中に先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 市共通アンケートの「児童は、授業中に先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している」 ⇒教職員の肯定的回答 98%以上	1 話をきちんと聞く態度を身に付けさせるため、授業や行事などの集会活動において、日常的に聞き方の指導を行います。 2 児童が安心して自分の考えをもち発表し、友だちの考えや気持ちを尊重して聴いたりすることができるよう、活動の目的に応じて学習形態を工夫しながら、授業の中で話し合い活動を積極的に設定します。落ち着いて学習に取り組んでいる児童やめあてに向かって努力し続ける児童、聞き方や話し方が優れている児童をほめ、学びに向かう集団として望ましい状態を作ります。	【達成状況】 【次年度の方針】
--	--	-------------------------------

	B2 学校は、家庭と協力して、家庭学習の習慣化を図っている。 【数値指標】 学校独自アンケートの「児童は、毎日、家庭学習をしている」 ⇒児童・教職員・保護者の肯定的回答 90%以上	1 「家庭学習の手引き」に基づき、家庭学習の捉え方について保護者及び児童に周知徹底を図り、各自が計画を立てて家庭学習に取り組めるように支援するとともに、保護者の理解・協力を得て、家庭学習の習慣化を図ります。さらに取り組みの様子を学校便りや、学年便り等で、地域・保護者に発信します。また、家庭学習の重要性や内容、方法について、保護者会・個人懇談等を利用して保護者に啓発していきます。連絡帳の表記を○あるいは◎から●に変更し、宿題も家庭学習であることの周知を図り、毎日取り組んでいる事実を積み重ね児童の自信につなげます。 2 児童の提出した家庭学習の課題やノートによく目を通し、一人一人の学習状況や内容に応じて個別指導を行い、認め励ますことで意欲づけを図ります。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A19 児童は地域でのボランティア活動や行事に参加している 【数値指標】 市共通アンケートの「児童は地域でのボランティア活動や行事に参加している」 ⇒全体肯定的回答 80%以上	・「社会に開かれた教育課程」を展開することによって児童と地域の方々との交流を通して地域愛を育み、ボランティア活動や地域の行事に参加させていきます。 (1) 道德教育を通して人と人とのつながり、社会において共存・共生することの大切さを学ばせます。 (2) 道德教育を通して地域愛の実践形態として地域でのボランティア活動や行事への参加があることを知らせ、活動に参加する意欲付けをします。	【達成状況】 【次年度の方針】
本校の特色・課題等	B4 学校は、学校栄養職員と調理員が連携して、安全でおいしい給食を供給し、食育の充実に取り組んでいる。 【数値指標】 学校独自アンケートの「学校の給食は、安全でおいしい」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 95%以上	1 旬の食材を活用し、子どもの食の好みを考慮しつつ季節感のある安全・安心・おいしい給食を提供します。 2 食物アレルギーの対応については、保護者との面談を十分に行い、学校栄養職員、担任、養護教諭、調理員の連絡を密にし、事故のないよう努めます。	【達成状況】 【次年度の方針】

	B3 読書活動の充実に取り組んでいる。 【数値指標】 学校独自アンケート「児童は、本をよく読んでいる」 ⇒児童・教職員・保護者の肯定的回答 83%以上	1 朝の図書の貸し出し、読み聞かせボランティアの活用、読書週間での様々な企画等を通して、読書活動を推進します。 2 「全校一斉読書の日（仮称）」の実践等を通して、家庭読書の充実を図ります。 3 家庭の理解と協力を呼びかけながら、効果的な取組を継続し、さらに読書の有用性や楽しさを味わえるよう配慮して、読書指導の充実を図っていきます。	【達成状況】 【次年度の方針】
--	---	--	-------------------------------

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

《学校運営面》
《児童指導面》
《体力・健康面》

6 学校関係者評価

《学校運営面》
《生活指導面》
《体力・健康面》
《学習面》

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。